



# な か す ぎ

## 一杉並稲門会 第4ブロック報一

Vol. 9



杉並稲門会第4ブロック会員の皆様へ

ピースボートで世界一周をされた栗原さんの話では、同乗者に早稲田出身が数名おり下船までの期間限定であるがピースボート稲門会が結成され、楽しく語り合ったとのことであった。一方で「早稲田は群れず」の言葉もある。これは群れて数の力を誇示し利益を誘導することを戒める言葉であって、早稲田に縁を持つものが集い繋がっていくとは異なる。「群れずに繋がる」こそが早稲田人の心意気と思う。

### 第55回・56回懇親会

12月18日(日)に恒例となった阿佐谷神明宮での忘年会を兼ねた懇親会は、55回を記念して2部構成で行なわれた。1部は杉並郷土史会会長の新村康敏さん(1B)の「百姓から見た戦国時代の合戦～杉並を駆け抜けた上杉謙信の兵」と題する講演会。2部は大隈重信公が創立し100有余年の歴史を持つ「永楽倶楽部」から2名が特別ゲストで参加された懇親会だ。様々な催しで阿佐谷を元気にしていただいている齋藤宮司のお話、特別ゲストからは「稲門医師会」や「神道稲門会」の紹介、世田谷に移住後も杉並稲門会に在籍していただいている中島峰広先生のご挨拶など、早稲田OBの幅の広さを実感する。終盤に入り、世話人を退任する平田律子さんと新任の島田文雄さんの挨拶、お楽しみ福引抽選会と続き、最後に元応援部の浅見圭祐さんの校歌指導とエールで58名が参加した楽しい懇親会は散会した。

### 第16回社会見学ツアー



第16回社会見学ツアーは「東京郊外ぶらり見学」と称して、5月10日(水)に46名が参加して行われた。今回は近場ながら訪れたことが少ない穴場スポットを巡るのが趣旨だ。コースは、国立天文台三鷹キャンパス→深大寺→ブリヂストン・ゴムとタイヤの博物館→サントリー武蔵野ブルワリー。歴史と未来(天文台・ブリヂストン)、美味しい物(深大寺蕎麦・出来立てのビール)の両方を楽しむ企画だったが、それぞれの地で解説員がつき、東京郊外の魅力を再認識できた素敵なツアーになった。また、今回も、毎回お世話になっている新村さんから歴史解説を聞くことができ、ツアーに奥行きが加わった。ビールの試飲会でほろ酔い気分の皆様を乗せたバスは無事に阿佐谷に到着し散会した。



第56回懇親会は、3月3日(金)に荻窪「つばめグリル」にて54名の参加で実施された。通常より時間を延長し、冒頭に川柳つくし師匠(4B)のミニ落語会を催した。お得意のウクレレ漫談と早稲田らしく「早慶戦」を題材にした新作落語に会場は大いに沸く。続いて懇親会に入るが、流石にドイツ料理の名店だけあり定番のアイスバインやソーセージ、最後は名物のハンブルグステーキが提供された。美味しいビールとも相まって質量共に皆様は大満足。また、この日は「雑祭り」なので、回答者を女性限定としたクイズ大会を行った。つくし師匠が司会し、自らの著書・扇子・手拭いが景品になる企画だったので盛り上がる。落語と美味しい料理を堪能した懇親会であった。

### 一金会

- ・11月～元消防所長の原山金三さんのお話「地震から身を守るために」
- ・1月～高円寺・西照寺寺族の嗣永典子さん(5B)のお話「年中行事のなかの仏教行事」
- ・2月～弁護士の山口治夫さんのお話「町弁50年の思い」
- ・4月～栗原正彦さんのお話「ピースボートの船旅」
- ・6月～百地健さんのお話「私の12年間の東京ガイド体験と社会見学ツアーの思い出」

会員によるミニ講演と懇親を楽しむ一金会は会を重ねる毎に盛況になり、参加できない方が出てきた。そこで、4月より会場を30名収容できる広い店「赤いトマト」に移し、より多くの方が参加いただけるようになった。



栗原さんの軽妙なトーク

### 4ブロック新会員紹介

下記の方が新しく4Bの会員になりました。

- ・山内章弘さん 1977年商学部卒 阿佐谷南
- ・岸可奈子さん 2014年文化構想学部卒 阿佐谷南



第4ブロック 第56回懇親会(荻窪ルミネ・つばめグリル) 平成29年3月3日(金)



[早稲田でバーベルクラブを立ち上げたそうですね] 普通の学生生活をしていましたが、体がなまってきたので少し鍛えようと思いました。バーベルがトレーニングに適しているのは知っていたので、そのような同好会を探しましたが見当たりません。勿論、ウエイトリフティング部はありましたが運動部の体質は好きでなかったし、民間のジムに通うとお金がかかります。それでは自分で作ってしまえと、1年生の秋にバーベルクラブを作りました。

[その後、クラブは順調に発展していったのですか]

立ち上げたものの、部員の集め方が分からない。母親が作ってくれたビラを学部の掲示板に貼ったり、正門前のタバコ屋に入部受付所を頼んだりしました。これで人が集まるのかと不安でしたが、直ぐに30名程の部員が集まりました。しかし、肝心のバーベルと練習場所がありません。バーベルは、皆から入部金を集めて買ったり手作りし、練習場はタバコ屋の裏の空き地を使わせてもらいました。もう一つ問題が生じました。全員が授業に出してしまうことも多く、部の管理をする者がいないのです。結局、私とその役目をしたので、あまり成績は良くなかったですね。現在のバーベルクラブは学生ボディビルコンテストの常勝校ですが、創部当時の自由な雰囲気は残っているようです。

[今は不動産業をされていますが、卒業後の経緯は] 元々、自由な生き方に憧れていたもので、サラリーマンになる気はあまりなかったです、不動産業も選択肢でしたが、何をするにつけ軍資金が必要です。そこで、サラリーマンをして元手を作ろうとサッポロビールに10年少し勤めてから、不動産の世界に入りました。阿佐谷との縁は20年ほど前に購入したビル(阿佐谷北2丁目)からです。ラピュタが建っている土地を買わないかとの話もありましたが、流石に金額の面で手が出せなかったです。

[NPO法人を創立し文化活動に取り組まれていますね] 阿佐谷のビルは賃貸物件として使っていたのですが、4年ほど前に空き室が出ました。丁度、不動産業以外にも文化事業をして別な生き方もしたいと考えていた時期なので、自分で使うことにしました。そこで「阿佐ヶ谷ワークショップ」を設立しました。しかし、何をやるのかは五里霧中で親しい友人達と企画や運営の会議を重ねました。運よくこの頃に阿佐谷在住でシェイクスピア研究の第一人者である学習院大学教授の荒井良雄先生と出会いました。先生からシェイクスピアの講義をシリーズで行っていただけるとのお話を頂き、方向性が見えてきました。先生はお亡くなりになりましたが、現在でもシェイクスピアを中心に、各種講演会や朗読会を行っていま



す。少しずつですが映画・演劇の会や写真・落語の教室などと幅を広げています。また、催しが終わった後の交流も大事にしたいのでカウンターバーも作りました。地域の皆様が気軽に集まれるスペースになれば嬉しいです。

[シェイクスピアの魅力は何ですか]

人間の生き様の本質に深く迫った作品をたくさん残したからではないでしょうか。だからこそ没後400年経過しても、世界の巨匠と呼ばれる演出家や映画監督がこぞって取り上げるのだと思います。翻訳本は読んでいますが、まだ原書で読む力はありません。「沙翁百人一句」と云ってシェイクスピアの100の名句を英語のカルタにしたものがあります。手始めに、これから勉強して、いつの日か原書で読めるようになりたいですね。

[最後に稲門会の皆様への一言を]

稲門会の皆様のお力を借りて「阿佐ヶ谷ワークショップ」を発展させていきたいです。また、HP等を見ていただき、私たちの催事にご参加いただければ幸いです。

**阿佐ヶ谷ワークショップ** <http://asagayaworkshop.com>

